

事業展開でございますが、村内での事業展開を継続すると共に、今まで村と

して参加してきた東京・大阪・広島等で実施されるイベントでの特産品販売の新商品として出品する予定でござります。

町村議会議員研修会

10月12日松江市の島根県民会館において町村議会議員研修会が開催され、本村からは議員8名、事務局1名が参加しました。

前半は総務省統計局の長藤洋昭氏が「データの利活用による地域の諸課題の解決」と題し講話され、データの重要性等について再認識しました。

後半は、政治アナリストの伊藤惇夫氏が「これから政局の行方について」と題し、現政権与党に対し厳しい批判を交えながら「衰退を食い止められる政権になるよう期待したい」と講話されました。



あわせて、今年7月に参加した「岐阜・高島屋」での「ラーメンフェア」等の全国各地で行われるイベントへの出店・販売により、全国に知夫里島という地域があることを知つてもらう、いわばP.Rの一役を担つてもらおうと考へております。

一般質問

Q1 定住促進住宅確保の取組について

について



山本議員

意味嬉しい悲鳴ではございますが、村としてそういうたご要望に応えきれていないことは、大きな課題であると考えております。

で見極めたいと思いますので、今暫く、
検討するお時間をいただければと思
います。

議員提出議案

否決

議員定数を現行の8名から2名削減し、6名に改める条例改正案



矢田議員

（情報）バンク」の制度を立ち上げ空き家斡旋を行っています。知夫村においても同制度の導入を行うことで、物件の所在地や所有者情報集めるとともにホームページや広報誌などをはじめとして広く情報を発信し、利用を希望する物件の取引仲介を行うことで、Uターン者をはじめ地域おこし協力隊員を終了した方などへの空き家や新築受け入れ体制が図られると思いますが、取組について村長の考えを伺います。

他方、新築住宅を建設するという事も考えられますが、今後の移住希望者の動向や村として最優先に取り組まなければならぬ「高速艇ちぶ」の後継船建造事業等との兼合いがござります。

また、村財政の状況等についても見極める必要もあり、早急に取り組むことができない現状があることをご理解賜ればと思うところでござります。

さて、議員ご提案の「空き家バンク」制度でございますが、私としては検討する価値はあると思います。

しかしながら、この制度を立ち上げ

11月1日における人口は614人です。議員一人あたりの人口にすれば約77人となります。全国的にみると議員一人あたりの人口が3桁以上となっている町村が多く、島根県内の最も低い町においても200人以上となつていています。

現行の議員定数から2名削減すると議員一人あたりの人口は約102人となり、人口あたりの議員数比としても



矢田 議員

村長 村と致しましては、村民や
U.I.ターン者の希望に少しでも応えるべく少しでも多くの住宅確保
を目指して出郷者等からご協力いただき
た空き家等を有効活用して対応して
いるところですが、ご承知のとおり、
まだまだ不足しているのが現状でござ
います。全国的に人口減少が叫ばれて
いるなか、本村への移住を希望される
方が多いと言う現状を見ますと、ある

しかしながら、この制度を立ち上げるには不動産鑑定士等の専門家を入れた協議会を立ち上げる必要があることや住宅所有者の空き家登録に対する不信感の払拭、いわゆる個人情報保護の観点からの配慮等の課題もございます。他にも、村内各所でも課題となつてゐる担当人材の確保といった点も課題の一つに挙げられます。

そうした課題を解決した上での制度施行ということになりますので、設置が可能かどうか担当課に検討させた上

また、本村の厳しい財政状況も踏まえ、議会改革の一環として次期改選時から議員定数の削減を行うため、この改正案を提出します。

なお、本議案の提出にあたっては、議会改革特別委員会の報告にありますたとおり、全議員が出席した特別委員会で4度の議論を重ね、既に賛成多数となつております。

12月定例会